

1 玄海町と広域の官民で構成される広域検討会の開催

広域検討会は下記の通り3回開催した

	実施日時	会議内容
第1回	令和4年 9月27日(火) 14:00～16:00	・昨年度までの活動の振り返り ・今年度の活動について ・意見交換 (1) 共創会議、共創プロジェクトについて (2) 旧上場4町での広域連携について
第2回	令和4年 11月30日(水) 13:00～14:30	・第1回共創会議の振り返り ・今後の共創会議・共創プロジェクト(事業者モニターツアー)の実施に向けて ・意見交換 (1) 共創会議(第2,3回)のあり方 (2) 共創プロジェクト(事業者モニターツアー)について
第3回	令和5年 2月14日(火) 13:00～14:30	・第2回共創会議の振り返り・共創プロジェクト(事業者モニターツアー及び第3回共創会議)の振り返り ・意見交換 (1) 本年度の活動について (2) 広域観光圏の構築に向けた次年度以降の方向性・ロードマップについて

2 広域観光圏の観光関連事業者が集う共創会議開催のための事前準備

共創会議開催の事前準備として、玄海町、唐津市にヒアリングを実施するとともに、上場地域の観光事業者8者に対してヒアリングを実施した。

3 広域観光圏の観光関連事業者が集う共創会議の開催

共創会議は下記の通り3回開催した

	実施日時	会議内容
第1回	令和4年 10月21日(金) 14:30～16:30	・上場エリアの現状の把握 ・講演(立教大学 村上名誉教授)～観光の最新動向について～ ・グループワーク ・上場エリアにある地域資源の良さや課題に関する意見抽出 ・カスタマージャーニーマップの作成
第2回	令和5年 1月25日(水) 13:30～15:30	・上場エリアの現状の把握 ・グループワーク ・上場エリアにある地域資源の魅力や身近に感じる課題についての意見交換 ・モニターツアーのコンテンツの検討
第3回	令和5年 2月8日(水) 16:40～17:30	・モニターツアーの振り返り(共創プロジェクトと同時開催)

4 共創プロジェクトの試行

共創会議での議論により、共創プロジェクトとして、上場エリアの事業者を対象にしたモニターツアーを実施するとした。

【開催時期・参加者】令和5年2月8日(水)9:00～18:50 参加者11名

行程順	場所	所要時間	内容
9:00	呼子朝市・呼子の町並み	60分	集合、ツアー開会挨拶 朝市散策・呼子の伝統建築の見学及び紹介
10:00	マリナル呼子	40分	遊覧船ジューラ体験
11:15	名護屋城博物館	45分	展示物の紹介
12:30	美食倶楽部 富高岩	90分	昼食：フレンチ
14:00	国民宿舎いろは島	90分	肥前町内でのアクティビティ体験及び海上アクティビティの紹介(いろは島～大浦の棚田～いろは島自転車で周遊)
16:00	玄海海上温泉パレア	40分	コスメワークショップ
16:40	玄海海上温泉パレア	40分	<第3回共創会議>ツアーに関する感想・意見共有
18:00	浜野浦の棚田	20分	棚田イルミネーション見学
18:20	浜野浦の棚田	10分	閉会

5 広域観光圏の魅力の情報発信方法・推進体制の検討

共創プロジェクトで実施したモニターツアーのルートや、ツアーの際に訪問した観光資源について、旅行商品の可能性について、旅行会社を中心に2社へのヒアリング調査を実施した。

6 令和5年度以降の活動の方向性

本年度の検討結果をもとに、次年度以降の方向性を下記に示す。

項目	本年度の到達点	活動の方向性
人材育成・ネットワークづくり	・ネットワーク形成のキックオフとして共創会議や共創プロジェクトを開催 ・今後も、参加者の拡大や連携の深化に繋がっていくことが重要	・モニターツアーなどによる地元のネットワークづくりの継続 ・勉強会・講演会等の継続的な実施 ・広域連携を進めていくための体制構築
観光商品開発(体験等)・販売	・共創会議・共創プロジェクト実施による地域の観光資源の魅力の再認識 ・ネットワークづくりを契機とするコラボレーションの可能性の示唆	→地元事業者の観光資源を活用した体験・商品造成、造成支援 →唐津観光協会等、地域での旅行業務資格を活用し、上場地域の商品を販売委託 →ふるさと納税による体験商品の販売
プロモーション・情報発信(セールス)	・地域事業者への地域資源のPR ・地域商社による上場地域の冊子作成	→情報誌・フリーペーパーの配布(福岡) →地域内のマイクロツーリズムを促進 →パンフ・Web・SNS →教育旅行等のセールス・情報発信
データ収集・分析・共有	・統計データやGPSデータ等を収集・分析し、地域事業者へ情報提供	→ビックデータや分析ツールの運用・プロモーション結果共有、アンケート調査
活動資金調達	・自走可能な資金獲得の必要性の示唆	→町の予算以外に観光庁等予算も活用